

泊発電所 3 号炉 審査資料	
資料番号	資料 1
提出年月日	令和 4 年 9 月 6 日

2022 年 9 月 6 日
北海道電力株式会社

審査会合を要しないと想定している DB/SA のヒアリングの進め方について

1. はじめに

本紙は、泊発電所 3 号炉の審査取りまとめ資料（以降、「まとめ資料」という。）のうち審査会合を要しないと想定している DB/SA のまとめ資料に関して、効率的にヒアリングを実施すべく、まとめ資料の作成状況を踏まえた進め方について説明するものである。

2. まとめ資料の作成状況について

2.1 まとめ資料作成方針について

- 審査会合を要しないと想定している DB/SA のまとめ資料については、プラント側審査において 2017 年 3 月時点で概ね説明済みとなっているものの、地震・津波側審査の進捗を待つ期間があったことから、以下の事項を反映している。
 - 地震・津波側の審査結果（現時点では迫り）
 - 自主的変更
 - 他社審査実績
 - 規制基準等の変更（バックフィット関連）
- 上記の内、他社審査実績は、以下の確認結果に基づき反映し、まとめ資料を作成している。
 - 基準適合に係る設計は、各条文・審査項目の要求を満たすための設備構成・仕様、環境・運用を踏まえて選定したプラントを確認
 - 記載の範囲、深さ、適正化された記載は、泊 3 号炉の地震・津波側審査が進捗した時点（2021 年 7 月）で直前に許可済みであった女川 2 号炉を確認。
 - 他社審査会合指摘事項を確認
 - 女川 2 号炉と同時期に審査が行われ、女川 2 号炉に次いで許可を受けた島根 2 号炉については、女川 2 号炉と島根 2 号炉の差異を確認し、島根 2 号炉との差異の中で泊 3 号炉の基準適合を示すために必要なものを確認。
- また、まとめ資料及び比較表について、女川 2 号炉との間で以下の確認を行った。
 - まとめ資料の作成状況（資料構成と内容）を条文・審査項目毎に比較し、これまで未作成のまとめ資料で基準適合性の網羅的な説明に必要と判断したものは新たに作成することで拡充を行い、基準適合性を示す上で必要な資料が揃っていることを確認した。
 - 比較表の作成範囲を条文・審査項目毎に比較することで、記載表現も含めた反映の範囲の妥当性を確認した。

2.2 まとめ資料他提出資料について

- 提出資料においては、まとめ資料の他、効率的に説明を行うべく、まとめ資料が先行審査内容と遜色がないこと、差異がある場合にはその理由も含めて明確にすることを目的とした以下の資料を提出している。
 - まとめ資料比較表（比較結果等を取りまとめた資料含む）
 - 泊発電所 3 号炉 審査取りまとめ資料 比較対象プラントの選定について

3. ヒアリングの進め方

- 2.の状況を踏まえ、ヒアリングにおいては、以下の事項を説明することを基本とし、まとめ資料の内容に応じて適宜補足資料等を用いた説明を行い、質疑応答を行うこととしたい。
 - まとめ資料比較表のうち、比較結果等を取りまとめた資料を用いた以下の説明
 - ・ 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)
 - ・ まとめ資料の比較結果の概要
 - まとめ資料の内容に応じて、補足説明用として作成した資料(パワーポイント資料等)を用いた以下の説明
 - ・ まとめ資料に記載の基準適合の方針と設計の概要(補足説明用資料においては、まとめ資料の該当ページを明示する。)
 - ・ 至近の審査実績であるBWRとの相違点、泊3号炉固有事項(新規制基準による追加要求事項に対する条文適合方針のポイント)
- 説明時間については、各条文のボリューム、内容(比較における差異の量)に応じて設定するが、ヒアリングを進める中で、要する時間を確認し、次回ヒアリング時間の設定に反映していく。(「泊3号炉 DB/SA/BFに係る説明スケジュール」等に適宜反映)

以上